



# 安積高校SSH通信

令和元年度第1号

令和元年6月14日発行

## SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されました。

安積高校は今年度から5年間の予定で、文部科学省よりSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受けました。平成14年度～16年度の第1期、平成17年度～18年度の経過措置に続き、第2期の指定となります。第2期のSSHの研究テーマは、「新しい社会を拓く創造性とレジリエンスを身につけた科学技術系リーダーの育成～安積の開拓者精神を世界へ～」です。

### SS探究Ⅰ「地域理解講演」

5月9日(木)に、地域理解講演を開催しました。講師に郡山市政策開発課の高橋勇介氏を迎えて、「みんなの想いや願いを結び、未来(あす)へとつながるまち 郡山」をテーマにご講演いただきました。

講演は、「郡山市の概要」、「あすまち市民会議こおりやま」、「SDGsへの取り組み」、「郡山の未来への提言」など非常に示唆に富む内容でした。地域についての意識を高めることの重要性、自分から行動を起こすことの意義について、改めて考えさせられるものであったと思われまます。

<生徒の感想から>

- 世界規模で物事を考え、地域のために行動し、未来から今を考えるバックキャスト思考で探究の課題に取り組みたい。
- 物事を多面的に見ること、「自分から」考えて行動することの大切さを学んだ。自分から動けば、人も動かせるのではないかと感じた。
- 自分が何もしなくても、未来は勝手に来るものだと思っていた。しかし、講話を聴いて、これからの郡山を引っ張っていくのは私たちであり、私たちがもっと郡山について考えなければならぬと思った。



### 地域創生探究スタート

今年度は1年生全員が「地域創生探究」に取り組みます。地域創生探究では、地域の持っている課題に向き合い、解決策を模索したり新たな提案をしたり、何らかの提言をすることを目指します。

以下の計画に沿って探究を進めていきます。

6～7月	テーマ決定・研究計画の立案	研究方法・フィールドワーク先を検討する。
夏季休業中	フィールドワーク	外部機関に出向いて情報収集を行う。
9～12月	研究	グループごとに研究を行う。
1月	研究のまとめ	発表用ポスターを制作する。
2月	クラス発表	クラス内でポスターセッションを行う。
3月	SSH発表会	研究成果を発表する。

<生徒活動報告>

本校HPに詳細と写真を載せています。

4 / 29	理科系部活講習会	希望者30名	午前東京工業大学澤田教授の講演、午後は物理・化学・生物・地学に分かれて実習しました。
/ 30	郡山市サイエンスフェア	物理部5名	郡山市スペースパークで実験講座をしました。小学校低学年中心にやさしく教えました。
5 / 9	地域理解講演	1年生全員	郡山市役所高橋様に地域の課題についての講演をしていただきました。（表面に掲載）
6 / 13	大学の研究を知ろう！	希望者20名	東北大学環境科学研究科和田山教授の燃料電池についての実験・講義を行いました。



<運営・教員研修報告>

6 / 6	地域連絡協議会	郡山地域テクノポリス推進機構様、郡山市役所様、本校PTAの方々より様々なご意見をいただきました。
/ 10	運営指導委員会	SSH運営指導委員の皆様（東北大学渡辺正夫教授、福島大学坂本篤史准教授、イノベーションコースト構想推進機構飯田喜之様）より運営についてご指導をいただきました。

<年内の予定>

6 / 15	第一回探究	1年生全員	テーマ決め。この日から合計7回探究の授業をします。夏に各班フィールドワークに行く予定です。
7 月	物理、化学、生物、地学オリンピック	希望者	それぞれ筆記試験、レポート提出などの試験をこなします。めざせ日本代表！
7 / 13	相双地区被災地研修	希望者35名	相双地区の原発事故被災地を訪れて現地の様子を見たり、現地の方の話を聞きます。
7 / 27～	全国総合文化祭	生物部3名	昨年の県予選で1位を取った生物部が佐賀の全国大会に参加します。
8 / 2～	国際放射線防護ワークショップ	希望者約10名	フランスの高校生、東京戸山高校などと被災地に赴き多くの課題を直接見て、東京にて風評払しょくのためにポスター発表をします！
8 / 7～	SSH全国発表会	生物部3名	SSHの全国発表会に本校代表として生物部が参加します。
10 / 24	校外研修	1年生全員	バスで移動し、近隣の施設で研修の予定です。
12 月	SSクラス国内研修	1年SSクラス志望者約20名	国内のSSH校に赴き交流を通して見識を深めます。